

私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会  
2013年度秋季京都地区協議会（第143回）議事要録

開催日：2013年10月22日(火)13:30～16:10

開催場所：京都造形芸術大学 芸術文化情報センター 映像ホール

出席校：34 校38 名

欠席校：金沢工業大学ライブラリーセンター、京都美術工芸大学附属図書館、近畿大学農学部図書館、  
金城大学図書館、種智院大学図書館・学術情報センター、聖泉大学図書館、成美大学メディアセンター  
富山国際大学図書館、びわこ学院大学図書館、北陸学院大学ヘッセル記念図書館、北陸大学図書館  
(以上〔11校〕すべて委任状提出)

司会：協議会当番校 京都造形芸術大学 芸術文化情報センター 村上能彦

1. 開会挨拶

協議会当番校である京都造形芸術大学 芸術文化情報センター所長 筒井紘一氏が挨拶する予定であったが、京都府の依頼による講演会出席のため、司会が代読してこれに代えた。

2. 会則（第4条の5）に基づき次回2014 年度春季京都地区協議会総会当番校の明治国際医療大学 吉田哲氏を議長に選出。議長より<加盟校45 校中、出席館数34 校、委任状11 校>を以って会則第4条の3に抛り本協議会が成立している旨が宣せられ、議事に進んだ。

3. 議題

（1）報告事項

①2013年度私立大学図書館協会会務報告（配付資料 1～48ページ）

②2013年度西地区部会会務報告（配付資料 49～86ページ）

③2013年度京都地区協議会会務報告（配付資料 87～89ページ）

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏

①～③それぞれの配付資料該当ページに基づき報告があり、確認が行われた。

④京都地区協議会相互協力委員会活動報告（配付資料90ページ）

相互協力委員会委員長校 京都光華女子大学図書館 田村伸一氏

配付資料該当ページに基づき報告があり、確認が行われた。

なお、あらためて各館の分担認識とマニュアルの確認があわせ依頼された。

⑤京都地区協議会ホームページ運営委員会活動報告（配付資料 91～92ページ）

ホームページ運営委員会委員長校 京都産業大学 天笠洋一氏

配付資料該当ページに基づき報告があり、確認が行われた。

この報告において、私立大学図書館協会ホームページ中、京都地区協議会が掲載する相互協力利用マニュアルの格納場所が判り難い階層下にあるとの指摘があるが、協会ホームページの全体の仕様もあり、どのように工夫するかについて議論がある旨の報告があった。これに対して奈良大学図書館より、九州地区協議会のページがわかりやすく参考になるのではないか、との助言があった。

⑥研究(修)会検討委員会の活動報告

研究(修)会検討委員会委員長校 畿央大学 大久幸世氏

③京都地区協議会会務報告に掲載の活動報告に基づいて報告があり、確認された。

⑦大学図書館近畿イニシアティブの活動報告（配付資料 93～120ページ）

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏

配付資料該当ページに基づき報告があり、確認が行われた。

なお、特に大学図書館近畿イニシアティブの自主財源の確保について当協議会の見解を求められているが、後の協議事項で新たためて説明、提案することとした。

⑧その他

その他の報告事項はなかった。

休憩時間を利用して、配付資料139ページ「研究会担当校一覧（案）」のうち、2015年度未決の担当校についてグループ内で調整・決定をしていただくよう依頼があった。

（2）協議事項

①私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会会則の改正について

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏

配付資料121～124ページに基づいて提案があり、了承された。

②京都地区協議会理事校等選出基準規程(2019年度～2028年度)について（配付資料 125～128ページ）

③2014年度相互協力委員会校の選出について（配付資料 129ページ）

④2014年度ホームページ運営委員会委員校の選出について（配付資料 130ページ）

⑤2014年度近畿イニシアティブ委員校の選出について（配付資料 131ページ）

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏

配付資料各該当ページに基づいて提案があり、了承された。

但し、それぞれの役職（担当）校の業務内容（量）の詳細及び、今後の担当予定校等について、これをこの場の共通認識とする意味でその開示が求められた。これに対して、同志社大学図書館、京都産業大学図書館より過去の実績に基づく発表・説明があった。また「部長会該当校担当表」「理事校該当校」に係る資料の開示が、会場内実物投影でなされた（当該資料は2013年10月23日付で理事校奈良産業大学より配信）。

⑥大学図書館近畿イニシアティブの自主財源について（追加配付資料・資料末尾ページなし）

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏

配付資料に基づいて提案があり、追加資料のとおり近畿イニシアティブに回答することで了承された。

なお、奈良大学図書館より協議会非加盟校のこれまでにあった動きについて、周知があった。

また、この自主財源確保についての動きは、京都大学、大阪大学を中心とする国立大学の意向によるものと推測される旨の付言が理事校よりあった。

（3）確認事項

①2013年度京都地区協議会加盟大学一覧について（配付資料 134ページ）

②理事校、当番校、委員校等のローテーションについて（配付資料 137～141ページ）

③京都地区協議会と阪神地区協議会との相互協力に関する申し合わせについて（配付資料 142ページ）

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏

配付資料に基づき確認が行われた。

京都文教大学（次年度研究（修）会検討委員会委員長校）より、参加の態様としてまずは初年度目に主担当校のサポートとして運営のノウハウを学び、然る後に担当をするという順番（従来は、主担当→サポート）で臨みたいとの意見があり、これを確認した。

また、休憩時に理事校より依頼のあった研究会未決の担当校については、京都A（2015）が京都産業大学、京都C（同）が長浜バイオ大学と決定したことが、理事校より報告された。

(4) 承合事項

承合事項はなかった。

(5) その他

①研究会への近畿イニシア賛助会員(協賛企業)所属の方の出席について

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏より報告があり、企業参加も規程に抵触しない以上は了。しかしながら、その場合も「営業活動は行わない」ことを条件として念達する必要がある、との認識が奈良大学図書館、花園大学情報センターより示され、この認識を共有した。

②2014年度西地区部会研究会への参加について

理事校 奈良産業大学図書館 松尾健氏よりこのことについて、本協議会加盟館の大谷大学で2014年9月13日(土)に開催される旨説明があり、参加呼びかけがあった。

③京都ノートルダム女子大学・図書館情報センターより、学内複合施設工事のため、2014年2月7日より3月31日まで、相互協力については謝絶、依頼についてはお受け願いたいとの依頼があった。

4. 閉会挨拶 当番校 京都造形芸術大学 芸術文化情報センター 村上能彦